

## 試行の情報

### クーリングオフ時間

#### 背景

第5条は、観客の不適切な行動など、外部からの不当な影響を理由に試合を停止、一時的に中断、または中止する権限を主審に与えている。しかし、場合によっては、試合参加者(競技者やチーム役員)の行動によって、競技者や審判員の安全が脅かされるような重大な対立が生じることもある。

このような状況においては、公式にプレーを中断することが、気持ちや感情を落ち着かせることにつながり、競技にとって有益であると思われる。したがって、正式に認められたクーリングオフ時間(競技者やチーム役員が冷静になるための時間)を開始する権限を主審に与えることは、さらなる対立や試合を中止することが求められるような事態を防ぐのに役立つと考えられる。

クーリングオフ時間を設けることで、キャプテンや監督が、チームメイトやチーム役員に適切な行動を促すための責任を持っていることに焦点を当てることになる。

#### 実施手順

進め方は次のとおり:

- 主審は笛を吹き、次の新しいシグナルを使用してクーリングオフ時間を開始する。
  - 両腕を頭上に上げ、手首のところで交差させる。
  - 腕の交差を解き、それぞれの腕を肩の高さで横方向に押す動作で遠ざけ、競技者がそれぞれのペナルティーエリア(または安全上の理由から主審が指示した別のエリア)に行かなければならないことを示す。
- このシグナルに続いて、観客や相手チーム役員との好ましくないやり取りを防ぐために、すべての競技者は自分のペナルティーエリアに移動し、その中にとどまらなければならない。
- ペナルティーエリア内にとどまるという要件を遵守しない競技者は、警告(イエローカード)される場合がある。
- 両チームのキャプテンと監督、および(競技会主催者が派遣した)代表者、警備や安全の担当者など、主審によって承認された他の適切な人は、センターサークル内で、主審およびその他の審判員と顔を合わせ、そこで主審によってプレーが中断された理由と次に取るべきステップについて説明を受ける。
- 他のすべてのチーム役員、交代要員および交代して退いた競技者は、競技のフィールドの外およびテクニカルエリアが設置されている場合はその中にとどまらなければならない。ただし、自チームの競技者に飲み物を持って行く、または負傷した競技者の負傷の程度の判断、あるいは処置を行えるクーリングオフ時間に対応できる1人のチーム役員、交代要員および交代して退いた競技者を除く。
- 主審は、キャプテンと監督に予想されるクーリングオフ時間の長さを通知する。クーリングオフ時間の長さは、対立の性質や程度、およびその他の要因、例えば天候(寒さまたは雨天という中でのクーリングオフ時間は、通常、暖かい時よりも短くする方が適切)などに基づいて主審が決定する。
- 主審は、キャプテンと監督に対し、負傷や試合の中止を避けるために、競技が再開されるにあたって、適切な行動と冷静さが必要であることについて自チームの競技者に話すことを求める。
- 主審がプレーを再開できると判断した場合、両キャプテンはセンターサークルに呼び戻され、いつプレーを再開するかを主審から通知される。負傷を防ぐために、短時間のウォーミングアップをすることが適切であると判断される場合がある。
- どの試合でも、最大で2回のクーリングオフ時間が認められる。
- 2回のクーリングオフ時間を設けた後、試合を続行するのに適した状況ではないと主審が判断した場合、試合は中止される。



- 主審が必要と判断した場合、クーリングオフ時間を設けることなく、または1回のクーリングオフ時間中あるいは時間後に試合を中止することができる。
- 試合後、主審はクーリングオフ時間の詳細について報告書に記入する。

#### 外部からの妨害(試合に参加していない者の行為)による試合の中断

- 外部からの妨害により主審が試合を中断することを決定した場合、既に示した新しいシグナルの最初の部分、つまり、両腕を頭上に上げ、手首のところで交差させるというシグナルを、試合が中断されたことを示すために使用する場合があります。
- 次に、主審は競技者がどこに行くべきかを指示すべきである。安全上の理由から、ペナルティーエリアではなく、更衣室またはトンネルエリア(フィールドにつながる通用口)とすることもある。

#### 許可、実施体制およびフィードバック

この試行は、国内上位2つのリーグ、または各国の「A」代表のチームが関わらない競技会でのみ実施できる。

この実施手順のすべてに従わなければならない、IFAB の書面による承認がない限り、変更は認められない。

競技会主催者は、各国協会あるいは大陸連盟の(いずれか適切な方)を通じて、どの競技会が参加するかを示して、試行への参加許可をIFABに申請しなければならない、また、IFAB からその他の情報を求められる場合がある。

競技会主催者が確約した必須の事柄をすべて満たしていれば、通常、IFABは試行への参加を許可する。これには、試行の評価ができるようなフィードバック、および情報やデータの提供(IFAB からの要求があった場合)の要件が含まれる。

試行の詳細、または参加の申込みは [trials@theifab.com](mailto:trials@theifab.com). に問い合わせること。